

# 知っていますか? エイズのこと

12月1日は  
世界エイズデー

平成22年度「世界エイズデー」テーマ：続けよう ～keep the promise,keep your life～

12月1日は世界エイズデーです。最近では性の開放に伴って、エイズなどの性感染症が広がり、感染者の低年齢化が叫ばれています。感染を予防する知識が未熟であったり、危機意識の薄い人も多く、その結果感染してしまうという人が増えています。そこで、エイズに関してもっとよく知ることで、自分を、そしてパートナーを大切にしましょう。



## ●どのように感染するの？

- ・ 性的接触…同性間・異性間どちらの性行為でも感染します。特に、出血を伴う行為は危険です。また、性器とは限らず、いろいろな形の性行為によって感染する可能性があります。
- ・ 母子感染…HIVに感染している母親から、血液や母乳を介して、胎児や新生児に感染します。

※HIVとは、エイズを引き起こすウイルスで、人の体内の免疫細胞に感染し、長い時間をかけて免疫細胞を破壊するウイルスです。

## ●感染するとどうなるの？

HIVに感染後、2週間くらいで風邪のような初期症状が出ますが、その後は症状が出ない状態(潜伏期間)が5～10年続きます。しかし、人に感染させる力はあるため、気づかぬうちに感染を広める可能性があります。

免疫力が低下してくると、発熱、体重減少、疲労などの症状が現れ、さまざまな合併症を起こし、全身の衰弱が目立ち始めます。そして、普段は抵抗力があるため感染しないような感染症にかかりやすくなります。このような状態のことをエイズといいます。

## ●こんなことではうつりません!

- ・ 蚊にさされる
- ・ 風呂やプールと一緒にいる
- ・ せきやくしゃみ、汗、涙に触れる
- ・ 電話、電車のつり革に触れる

HIVに関しては、強い偏見や誤解が多いですが、HIVは感染力の弱いウイルスです。左記のようなことで感染することはありません。

## ●エイズは治るの？

HIVに対する確実な治療法はまだ見つかっていません。しかし、発症を遅らせたり、発症した感染症を治す治療は進んでいます。また、検査や治療を受けるときは、パートナーに異常や自覚症状が無くても、必ず一緒に受けましょう。そして、まずは予防です。感染理由として最も多いのは、性行為によるものです。きちんとコンドームを付けましょう。

## ●相談や検査はどこに行けばいいの？

衣浦東部保健所 ☎21-4778(代)

- ・ エイズ抗体検査……………毎週火曜日  
午前9時～11時  
午後1時～3時
- ・ 夜間エイズ抗体検査…毎月第1・第3火曜日  
午後6時～7時

※匿名・無料で検査できます。予約不要。

(財)エイズ予防財団 ☎0120-177-812

(携帯電話からは03-5259-1815)

- ・ 電話相談 月～金(年末年始、祝日を除く)  
午前10時～午後1時・午後2時～5時
- ※専門の相談員が直接対応します。

JFAPエイズサポートライン ☎03-5940-2127  
《24時間電話自動応答システム・8ヶ国語対応》

問合せ先 いきいき広場内保健福祉グループ ☎52-9871